



ニュースレター 2025 年 1 月 30 日配信版

寒くて雨の降るナッシュビルからシャローム！ここ数日は肌寒いながらも快適です。ですが、今日のために雨をためていたのだと思います。昨夜はフェアビューのワン チャーチ ホームで 500 人の親しい友と楽しい時間を過ごしました。オンラインで視聴した人も大勢いました。話し合いに最適な環境を作ってくれたスティーブ・バーガー牧師と ASI ミニストリー、イアン・ギルクリスト牧師、そして教会のチーム全員に心から感謝します。スティーブと私とで、イスラエルで今何が起きているかについて話し合った、忘れられない夜でした。

間もなく、私はもう少し暖かく、乾燥した南カリフォルニアに向かいます。南カリフォルニアに戻ったら、ジャック・ヒブス牧師、バリー・スタグナー牧師、マイク・ゴレイ牧師とともに、2025 年 Proximity Bible Prophecy Conference に参加します。完売となったこのカンファレンスに参加できない方も、まだご視聴いただけます。土曜日の朝、YouTube で Barry Stagner の名前を入力すると、アクセスできるリンクが表示されます。その時間枠に都合がつかない方にも、私たちがつながるチャンスがもう 1 つあります。日曜日の朝、Calvary Chapel East Anaheim の両方の礼拝で教えます。午前 9 時または午前 11 時にぜひお越しください。

来週は、フィクションの執筆パートナーであるスティーブ・ヨーンとホテルの一室にこもって過ごす予定です。[The Sick Man's Rage](#) を読んだ方は、これから何について話すかすでにご存知でしょう。とても深いテーマを掘り下げて計画する必要があるのです、どうか私たちのためにお祈りください。また、[The Sick Man's Rage のオーディオブック](#) を待っていた方は、ついにリリースされました。Audible、Amazon、または Apple Books で今すぐ購入可能です！

中東と世界

ほんの一握りの人質のために、なぜこれほど多くの犯罪者を釈放するような事態になってしまったのか？一言で言えば、悪い政策。世界中の政府や法執行機関は、人質をめぐる交渉はしないということを知っている。もし交渉して悪者が約束を守れば、一時的な喜びは得られる。しかし、あなたが祝っている間に、テロリストは次回の解放のために賭け金を上げようと企んでいるのだ。

かつてイスラエルはテロリストと交渉しないことで知られていたが、数十年前から変わり始めた。1968年、アルジェリアで48人の乗客を乗せたエル・アル航空の飛行機が、人々の血を流していないテロリスト24人と引き換えに解放された。それから41年後、誘拐されたイスラエル兵1人のビデオ映像を手に入れるためだけに、同じ値段、つまり24人のテロリストが支払われた。恐ろしいインフレの話だ！

一度屈服すると、代償はどんどん増すばかりで、何度も屈服を強いられることになる。我々がどれほど落ちたかは、2011年にイスラエルが、イスラエル国防軍ギル・シャリット兵士1人の帰還と引き換えに、パレスチナ人囚人1,027人を引き渡さざるを得なくなったときに明らかになった。誤解しないでほしい、私は、シャリット兵士をこの地に帰還させるヘリコプターが頭上を飛んでいるのを見て泣いた。彼と人質全員が帰国できたことにとっても感謝している。しかし、短期的な利益は長期的な痛みをもたらした。実際、ガザの血に飢えたハマスの指導者である故ヤヒヤ・シンワルは、シャリット兵の命と交換された人質のひとりだった。わが国の軍隊がどんなに強力であっても、テロリストはわが国の弱点を知っている。彼らが我が国民を拉致すれば、私たちは最終的に屈服する。

最も苛立たしいのは、私たちが巻き込まれたこの混乱から抜け出す方法が見当たらないことだ。少なくとも、現在の政府の構造では。私たちの最高裁は安全よりも人質を優先する。さらに悪いことに、イスラエルの安全よりもテロリストを優先している。イスラエルの最高裁はリベラルな左翼急進派で埋め尽くされており、彼らは互いに指名し合う権限を持っているため、最高裁は左翼急進派でいっぱいである。この狂った司法制度を維持する限り、イスラエルは常に危険にさらされる。10月7日は、

これから起こるであろうことの前菜にすぎない。

このニュースレターに掲載されているこの件やその他の事項については、火曜日の[中東アップデート](#)でさらに詳しく話しています。(日本語字幕版：2025年1月28日 中東アップデート) ぜひご覧ください。いつものように、[私のテレグラム・チャンネル](#)では最新のニュースを配信中。

私たちはトランプの世界に生きている

新たに再就任した米国大統領にとって、最初の1週間は素晴らしいものだった。何百もの法案が署名され、これまでにない内閣が上院を通過し、国際指導者たちは外交の糸口を探っているが、この大統領が話すときは耳を傾けたほうがよいと気付いた。

イスラエルにとって、この数日はさまざまな意味で良かった。前政権が抑えていた軍事装備がイスラエル国防軍に送られた。トランプはまた、ガザの人々はもうガザには住めないと認めた最初の世界の指導者でもある。あらゆる建物の中や下に隠れていたテロリストたちのせいで、彼らの街は破壊された。ガザは70%破壊され、ラファは80%消滅した。大統領はヨルダン、エジプト、アルバニアに、できるだけ多くのガザ難民を受け入れるよう働きかけたが、これらの国々はすぐに「無理だ!」と言った。これは、ヨルダンにはすでにヨルダン人よりも多くのパレスチナ人がいるという事実にもかかわらずだ。

さらには、なぜこれらの国々は、地球上で最も残忍な人間に賭けたいと思うのだろうか？彼らは、パレスチナ人の大多数がどういう人間か知っている。ほぼすべてのパレスチナ人は、ユダヤ人を憎むように育てられている。土曜日に解放されたばかりの人質リリ・アルバグさんは、「私は『ユダヤ人に唾を吐きかけろ』と言っていた4歳と8歳の子どもたちと一緒に座っていた。ガザには200万人のテロリストがいる。誤解しないでください。彼らは全員テロリストです」と語った。

スローガンを唱えたり、罪のない一般市民について演説をしたりすることは誰にでもできる。しかし、彼らは、自らが作り上げたフィクションを信念の根拠としているのであって、そこに行ったことがな

い。ユダヤ人殺害についての児童書を見たこともなければ、ハマスの兵士が幼い子供たちに銃の持ち方を訓練しているのを目撃したこともない。ユダヤ人を殺しながら殉教することが人生の最終目標であるべきだと、親たちが自分の子どもたちに教えているのを聞いたこともない。イスラエルの近隣諸国は、パレスチナ人に関して、これらのことを知っているからこそ、難民にノーと言うのが早かったのだ。トランプ大統領にとって、彼らの鍵のかかったドアを開けるのは、コロンビアのドアを開けるよりもはるかに難しいだろう。

ガザでの停戦

イスラエル国防軍がガザでの戦力を弱める中、ハマスは隠れ場所から再び姿を現しつつある。ガザのあちこちに白いピックアップトラックが戻り、制服を着た男たちが再び老若男女からの祝福を街頭で受けている。北部に戻った難民たちが、自分たちの街に何も残っていないのを見た後も、ハマスへの熱狂が続くかどうかは興味深いところだ。もちろん、非難の矛先はイスラエルに向けられるだろう。しかし 2 つの事実を結び付けて、自分たちの家がナンのように平たくされたのは、自分たちの地元テロリスト軍の行動にせいだと認識する人も多だろう。

前の 2 つのセクションで既に人質について話したが、今日のテーマは人質である。今日、さらに 3 人の拉致被害者が解放された。アルベル・イエフドさん (29)、アガム・ベルガーさん (19)、ガディ・モーゼスさん (80)、および 5 人のタイ人被害者。ガディ・モーゼスさんは死亡した人質の 1 人であると以前に報告されていたが、その情報は誤りだったようだ。このような混乱した情報のため、私は殺害された人質の名前を公表できない。イスラエルは、罪のない人々の帰還と引き換えに、終身刑に服していた 32 人を含む 110 人のパレスチナ人囚人を釈放する予定だった。しかし、ネタニヤフ首相はパレスチナ人を乗せたバスに、引き返して刑務所に戻るよう命じた。理由？ 拉致被害者らが帰還する際、群衆の中を通り抜けることを強制され、そこでリンチされそうになったからだ。何千人もの絶叫する者たちが彼らを取り囲み、押し合いへし合いになった。首相は「人質解放の恐ろしい光景を極めて深刻に受け止めている。これはハマスの残虐非道さを示すもうひとつの証拠だ。仲介者には、二度とこのようなことが起こらないようにし、人質の安全を保証するよう要求する。彼らに危害を加える者は、自らの血で償うことになる」と述べた。3 時間の遅延の後、合意に達してようやくパレスチナ人は解放

された。

土曜日にはさらに 3 人の人質が解放され、その後数週間でさらに解放される。しかし、停戦の第 1 段階後もハマスは依然として 64 人のイスラエル国民を拘束している。ただし、そのうち生存しているのは 30 人未満とみられる。第 2 段階の合意は、基本的に「イスラエルよ、撤退するなら、誘拐した人質の残りを返してやってもいいぞ」というものだ。正直なところ、その時が来たらどうなるかはわからない。我々は、国民の帰還を心から願っている。しかし、撤退してすべてを以前の状態に戻すわけにはいかない。ハマスを権力の座に残してはならない。今私たちは、人質のために軍事費が支払われるという歴史上初めての事態を目の当たりにしている。イスラエルは、打ちのめされ、傷ついた市民と引き換えに土地を手放している。本当にめちゃくちゃな世界だ。

レバノン停戦

西側諸国が仲介した停戦協定によれば、レバノンからイスラエル軍を撤退させる期限は日曜日だった。しかし、イスラエルはレバノンが協定を履行していないと言い、レバノン側はイスラエルが撤退の足を引っ張っていると主張している。期限が来ると、大規模なデモ行進がイスラエル軍に向かって押し寄せ、イスラエル国防軍が発砲、22 人が死亡した。現在、停戦期限は 2 月 18 日まで延長されている。レバノン南部の国民がヒズボラよりも安全と平穏を選んだ時、初めてこの地域に平和が訪れるのだ。

シリア解放記念日

手元にカレンダーがあれば、12 月 8 日を特別な日としてマークしてほしい。これは、昨日からシリア大統領に就任したアハメド・アル・シャラーがアサド政権の崩壊を祝うために制定した祝日である。それに応じて好きなように祝えばいい。

アル・シャラーが政権に就いたことで、他のシリア革命派閥は国防省内で解散、統合され、新たなシリア軍が結成される。イスラエルにとってありがたいことに、その軍隊が南国境を越えることはない。シリアが今最も避けたいのは、イスラエルと戦うことだ。イランが失敗し、米国が背後から見張っている中、アル・シャラーの政府は、南部のドゥルーズ派や北部のクルド人からの抵抗を鎮圧するなど、

差し迫った国内のニーズに焦点を合わせることになるだろう。

一方イスラエルは、シリアの焦慮を利用するつもりだ。イスラエル国防軍はヘルモン山の頂上と安全地帯に無期限で留まり、国境付近の安全を確保するつもりだ。

ミニストリー

本、DVD、聖書グッズ、しおり、シャツ、帽子、バンパーステッカーなど、Behold Israel のショップにはあらゆるものが揃っています。少し時間を取ってページをじっくりご覧になり、何か気に入るものはないか探してみてください。[オンラインストア](#)はこちら。

今週はオンラインで忙しい週でした。上で述べたように、私は非常に重要な[中東アップデート](#)をオンラインで投稿しました。これは、人質をめぐる状況全体をより深く掘り下げているため、見る価値があります。月曜日には、バリー・スタグナー牧師と私とで、最新の[CONNECT: Q & A](#)を行い、聖書と時事問題に関する皆さんの質問に答えました。そして昨日は、リック・ヨーン博士と一緒に[Explore the Bible](#)の別のエピソードにて、旧約聖書の流れを学ぶことに焦点を当てました。

月曜日は国際ホロコースト追悼記念日でした。ホロコーストは、イスラエル人にとって、常に現実的なものでしたが、私の世代やそれ以降の世代のほとんどは、そのような卑劣な攻撃を受けるとはどのようなことなのか、明確には理解していませんでした。しかし10月7日以降、私たちは理解できるようになりました。そのため、この特別な追悼の日は、これまで以上に厳粛で、より身近なものとなっています。10月7日は、世界中の多くの人々、特に教会にとって、世界中に蔓延する反ユダヤ主義に対する警鐘でもありました。かつてホロコーストについて祈ったように、今は10月7日について一緒に祈りましょう。「主よ、あなたの国イスラエルを祝福してください。そして、どうか、二度とこのようなことが起こらないようにしてください。」

マラキ書 3:6

「主であるわたしは変わることがない。

そのため、ヤコブの子らよ、

あなたがたは絶え果てることはない。」

このミニストーリーへのお祈りとご支援に感謝します。家族と離れている今、皆さんの励ましにこれまで以上に感謝しています。神が皆さんを大いに祝福してくださいますように。

主の来臨を待ち望む。

Amir Tsarfati



ビホールド・イスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.